
僕の気持ち私の気持ち 苛立ちと悲しみ

マルメール

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の気持ち私の気持ち 苛立ちと悲しみ

【コード】

N9794G

【作者名】

マルメール

【あらすじ】

恋愛をしていくなかで男性の気持ちと女性の気持ちを書いてみました。

始まりの気持ち

僕は君が大好きだ。何度でも言えるよ。君の言葉、君の仕草、甘える顔もかすかに漂う香りも。

いろんな所に出かけよう。お揃いの指輪を買いに行こう。毎日でも会いたい。

でもしつこくは誘わない。君に嫌われたくないから。もっと慎重に事を進めよう。

私もあなたが大好きです。一目惚れってあるんだな。あなたを見ると胸の鼓動が収まらないくらい速くなってあなたが声が聞きたくて電話をしてしまう。でもしつこくしないように注意して。あなたに嫌われたくないから。私って計算高い女なのかな。それでもあなたの声が聞きたくて、あなたの顔を見たいから電話して、会う約束をしてしまう。しつこい女でごめんね。

月日の流れく 違和感(前書き)

急展開になってしまいました。読みづらかったらすいません。

月日の流れく 違和感

君との思い出が嬉しく思う。いろんな所に行つて、お揃いの指輪を買つて二人で笑つていられたね。毎日のように会つて、デートして、キスをして、抱き合つた。

君が愛おしくてたまらない。口にはださないけど。恥ずかしいし君がもしかしたら嫌がつてるかもしれないかな。君の考えてる事が知りたい。でも聞けない。怖がつてる自分が情けない。

あなたとの思い出が増えていくにつれ、私はあなたを好きになる。初デートも覚えてるし、初キスの所も覚えてる。あなたに会える事が当たり前のように感じて、でもいつも新鮮な気持ちでいれる。不思議だなつて思う。あなたにハマる自分が好きでいる。

でもあなたの気持ちかわからない。口に出して言つてくれないから。あなたが考えてる仕事する度に何を考えてるのか知りたくなる。でも聞けない。もしかしたら私を好きでなくなつてるかもしれないから。

不安な事は嫌いだからあなたの思いを私に伝えて。

最近おかしく思う。君に会うのがつらく感じてしまう。仕事の疲れかな、会つても安らげない。ただ疲れが溜まるだけ。

煙草の吸い過ぎを注意され苛立ってしまった。どうやら疲れが溜まりすぎてるらしい。明日は会わないで家に帰ろう。君を好きだと思ふ気持ちが消える前に。また楽しく笑えるように。

最近あなたがおかしく思う。些細なことで怒り出して、会話がめっきり減ってしまった。

あなたの考えてる時間が増えていくのがつらくて不安になる。何を考えてるのかわからない。勇気出して聞いても答えてくれない。そしたら私は考えるしかなくて会話がなくなるの知ってる、

明日は会えないけど私は不安な夜を過ごす。ネガティブな考えが頭をよぎる。溜め息しか出ない。元気が出ない。独りの夜は長く感じてしまう。

いつになったらあなたの笑顔を見れるだろう。

すれ違い〜今の心境（前書き）

読みづらかったらすいません。

すれ違い〜今の心境

一度会わないと案外会わなくても平気みたいだ。メールが来るけど仕事中だからあとで返そう。電話も来るけど後で返そう。

電話もメールも返ってこない。なんで、私がなにかしたの。会いたいよ。声が聞きたいよ。

電話もメールも面倒になってきた。なぜこんなにしつこいんだ。少しは我慢してくれよ。仕事で疲れてるし、眠たいんだ。今日はもういいや。明日にしよう。

結局メールも電話も返って来なかった。あなたが疲れてるのはわかるけど、メールや電話ぐらい返してよ。不安になるし、心配するじゃん。もう嫌だよ。悲しいよ。

久しぶりにメールを返そう。電話だと面倒だし、長くなりそう。

メールが返ってきた。嬉しくてたまらない。思わず電話をかけ

てみた。

メールを電話で返さないでくれよ。面倒じゃん。僕の事考えてる。

不機嫌なのは声でわかった。一気に気持ちが沈む。電話じゃだめなの。声聞きたいよ。会いたいよ。

思わず昔の事を思い出す。楽しかったあの日を。毎日会って、たわいない話をして笑いあったことを。確かに君を好きでいれた。

電話を切って考える。今の気持ちを。楽しかった日々からいきなり会わない日々が来て、僕は君をどう思っているのか。

今の僕の気持ちは、、、

思わず昔の事を思い出す。楽しかったあの日を。デートして、買い物に行って、旅行にも行ったね。毎日が楽しくて嬉しくてだから学校も楽しめた。友達に自慢できたし、1日笑っていられた。なのに今は。

電話を切って考える。私はやっぱりあなたが好きで、会いたい。また笑いあえる日が来ると信じてる。

あなたは。。。。

終結（奇立ちと悲しみ）（前書き）

これで最終話です。読んでくれた方ありがとうございます。厳しい評価、感想お待ちします。

終結く奇立ちと悲しみ

僕は君を好きではなくなったらしい。君の電話もメールも面倒に思える。わがままで感じてしまう。

僕は小さい人間なのかもしれない。いや多分そう、小さい人間なんだ。だから君の愛が受け止めきれずに嫌になる。正直言つとつらい。決して口には出さないけど。

口に出せば君は傷つくだろう。そんぐらいはわかる。いや、本当は欲求を満たす相手がいなくなるからだろう。最低な人間だね、僕。

だから僕からは別れ話をしない。でも君が別れようと言つたら僕は引き止めない。素直に別れよう。

あなたが私を好きでないことぐらいわかる。あなたが初めての恋人ではないし、態度を見れば。

でもね、急には嫌いになれないの。まだ、もしかしたらって考えちゃうの。ないとわかっていても。だから私は別れようって言わないよ。あなたが言うまでは。

僕は君が嫌いなんだよ。もう愛はない。だから会話も素っ気ないし、会っても体に行ってしまう。

わかってるんでしょ。僕の気持ち。なんで別れ話をしてくれな

いの。こんなに冷たくしてるのに。いい加減別れようよ。

あなたの気持ちはわかってる。あからさまに態度に出してることも。なんて言ってくれないの。もう十分私を傷つけたでしょ。まだ傷つけたいの。いい加減言ってよ。

君を傷つけているのは知ってる。だからこそ僕から別れ話はしちゃいけないと思っていた。でも言っよ。

別れよう

やっと言ってくれたね。私が立ち直るのにどれだけ時間がかかるかわかってるの。毎日泣いて、食事も喉を通らないし、学校も休むかもしれない。それが何日も続くんだよ。つらいし、死にたいぐらい悩むんだよ。

あなたにはわからないか。わかってたらこんな事しないもんね。あなたは多分一生本当の恋を見つけれないと思うよ。自分の都合しか考えないあなたには。

私は見つけるから。絶対に幸せになる。あなたと過ごした日々は無駄にはしないから。今までありがとう。さようなら。

今頃になって考える。愛ってなんなのか。僕にとって好きになるとはどういうことなのか。わからない。多分一生わからないだろう。

悔しくて思わず携帯を投げつける。慌てて取りに行く。惨めな思いをして苛立ってしまった。なのに涙が流れてくる。

壊れた携帯の液晶画面が真っ暗になってしまった。まるで僕の心のように

終結（奇立ちと悲しみ）（後書き）

実はこれは体験談なんですよね。ええ実話なんですよ。僕の。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9794g/>

僕の気持ち私の気持ち 苛立ちと悲しみ

2011年1月9日02時40分発行